

# 県との連携強化を強調

1面参照

千葉県コンクリート製品協同組合の賀詞交歓会では、来賓を代表して、県国土整備部技術管理課の龍崎和寛課長と千葉県中小企業団体連合会の今関光俊事務局長が祝辞。龍崎課長は、県土整備への取り組みについて「これからは『安心と安全』が強く求められてくる」と強調。人材不足による若手の確保や生産性の向上については「県の発注工事で完全土日休みのモデル事業を展開している」とことや「国がアイ・コンストラクションとして、ICT技術の活用や規格の標準化などを打ち出している」と紹介。これらの観点から「コンクリート製品などのプレキャスト化が進んでいくのではないか」との見通しを示し「今後も県と連携して活動して頂きたい」と呼びかけた。

また、この日は、記念品贈呈として前理事長の花澤長文氏に保美理事長から記念品が贈られた。その席で花澤前理事長は「みなさんのおかげで4年間の大役を全うすることができた。この場を借りて、お礼を申し上げたい」と感謝の言葉を述べた。

その後、全国コンクリート製品協会関東支部の岡村清孝支部長の発声で乾杯。歓談に移り親睦を深めた。

コンクリート製品協組／新年賀詞交歓会

## 「県産品の使用促進」柱に

### 組合製品の販路拡大



保美理事長

千葉県コンクリート製品協同組合保美善和理事長は21日、千葉市内の京成ホテルミラマールで「2016年新年賀詞交歓会」を開催した。

主催者を代表して、保美

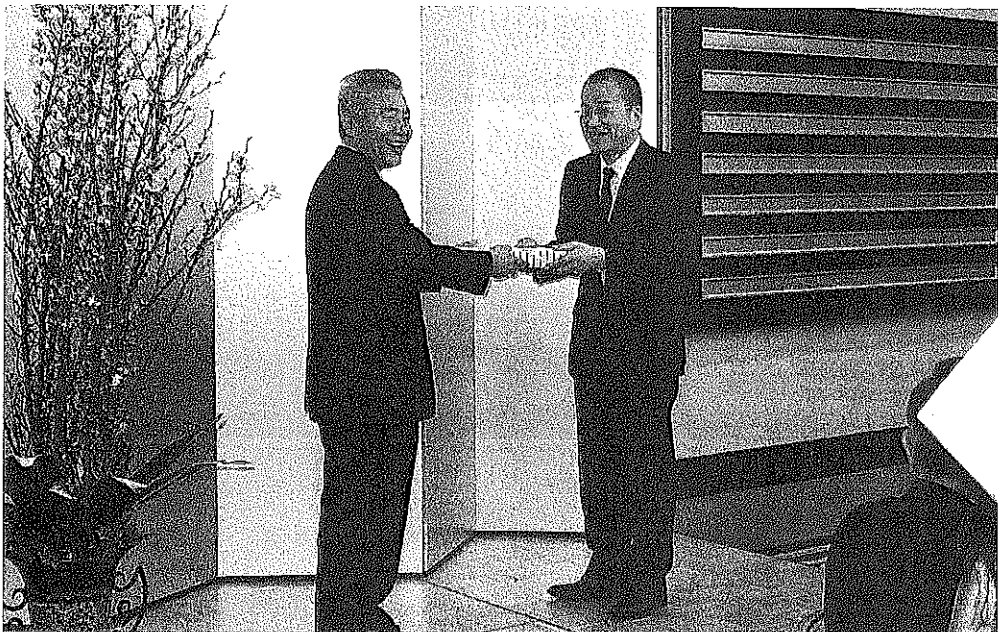
理事長は「今年は天候にも恵まれ、新しい門出に素晴らしいスタートがきれた」とする一方、昨年を振り返って「中国経済の減速や消費税の引き上げによる個人消費や人口減少問題など依然として厳しい状況が続いている」と指摘。「昨年以上に飛躍の年としたい」としたうえで、組合での県産品の使用拡大への取り組みについて報告。

「今後は、さらなる県産品の使用を促進するため、製品情報など組合ホームページの充実を図るとともに、組合員が一丸となって組合製品の販路拡大に努めていく」との意気込みを述べた。

(3面に続く)



祝辞を述べる龍崎課長



花澤前理事長(右)の功績を称えて記念品の贈呈